



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 イノテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 棚橋 祥紀

TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,254	14.0	959	47.9	1,103	43.1	505	14.6
25年3月期第3四半期	15,140	△22.7	648	△51.1	771	△45.9	441	△33.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 494百万円 (33.6%) 25年3月期第3四半期 370百万円 (△41.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.83	28.25
25年3月期第3四半期	25.21	24.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	27,504	22,950	81.9
25年3月期	26,527	22,683	84.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 22,540百万円 25年3月期 22,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	11.9	1,100	44.5	1,200	30.6	500	△4.3	28.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	18,218,901 株	25年3月期	18,218,901 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	653,459 株	25年3月期	715,359 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	17,544,283 株	25年3月期3Q	17,503,562 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、平成25年8月7日に公表しました内容から変更しております。詳細につきましては平成26年2月7日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の持ち直しや円安による押し上げ効果の本格化などから輸出が堅調に推移し、さらにアベノミクスの追い風を受け内需も好調に推移いたしました。内外需要の底上げにより、製造業を中心に景況感が改善したほか、消費税率引き上げ前の駆け込み需要が見え始めるなど、景気回復に広がりが出てきました。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、低調が続いていた薄型テレビの一部やパソコン等の民生機器関連は年後半にかけ回復の傾向が見られ、スマートフォン、タブレット端末等のモバイルコンピューティング関連、電子部品関連は引き続き好調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高172億54百万円（前年同期比14.0%増）、営業利益9億59百万円（同47.9%増）、経常利益11億3百万円（同43.1%増）、四半期純利益5億5百万円（同14.6%増）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を変更したため、前年同四半期比較にあたっては前第3四半期連結累計期間分を変更後の算定方法により組み替えて行っております。

詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

〔半導体設計事業〕

半導体設計事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供、仕入先・顧客など取引先との関係強化及び新規開拓を行うなど積極的な営業活動に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、他社製品からの移行や長期契約の更新、及び新規顧客の獲得などにより好調に推移いたしました。自社製テストシステムは、海外向けが引き続き堅調に推移したほか、国内半導体メーカーにおきましても需要回復の兆しが見え始め、増収増益となりました。また、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスも堅調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は106億22百万円（前年同期比33.5%増）、セグメント利益は17億27百万円（同85.1%増）となりました。

〔電子部品事業〕

電子部品事業は、デジタル家電やOA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力してまいりました。ハードディスク部門は、OA・FA市場の低迷により、前年同期比で売上高が大きく落ち込みました。デバイス部門は、高画質デジタル機器対応チップの需要に回復が見られたものの、自社製組込みボード、レーザーダイオードドライバーは価格競争の激化により売上高が減少いたしました。アイティアアクセス株式会社は、受託開発が開発効率向上により堅調に推移したものの、組込みソフトウェアのライセンス販売の不調等により前年同期実績を下回りました。

その結果、当事業の売上高は66億32百万円（同7.7%減）、セグメント損失は3億17百万円（前年同期はセグメント利益86百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、275億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億77百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が減少したものの受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は45億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億10百万円増加しております。これは主に、退職給付引当金が減少したものの未払法人税等や賞与引当金、買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産は229億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億67百万円増加しております。これは主に、四半期純利益を計上したためであります。この結果、自己資本比率は81.9%となり、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成25年8月7日に公表しました平成26年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成26年2月7日付で別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第2四半期連結会計期間より、重要性が増加したため、持分法適用の範囲に含めておりましたウインクエフエックス株式会社は、当第3四半期連結会計期間に清算手続きに入ることとなり、重要性が低下したため、持分法適用の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,902,539	4,630,935
受取手形及び売掛金	6,346,203	7,485,768
商品及び製品	1,163,110	1,573,199
その他	1,962,753	1,650,145
貸倒引当金	△1,302	△19,229
流動資産合計	14,373,305	15,320,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,698,072	7,716,095
減価償却累計額	△3,596,369	△3,697,545
建物及び構築物（純額）	4,101,703	4,018,550
土地	5,668,131	5,668,131
その他	799,480	799,299
減価償却累計額	△545,627	△543,192
その他（純額）	253,852	256,107
有形固定資産合計	10,023,687	9,942,789
無形固定資産		
のれん	134,620	99,941
その他	140,668	178,989
無形固定資産合計	275,289	278,930
投資その他の資産		
投資有価証券	1,106,845	1,087,508
その他	755,974	880,671
貸倒引当金	△7,697	△5,754
投資その他の資産合計	1,855,122	1,962,426
固定資産合計	12,154,098	12,184,146
資産合計	26,527,404	27,504,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,265,754	1,336,115
未払法人税等	167,401	303,923
賞与引当金	30,597	110,754
役員賞与引当金	—	5,300
その他	1,911,176	2,330,768
流動負債合計	3,374,930	4,086,861
固定負債		
退職給付引当金	234,936	222,851
役員退職慰労引当金	58,770	67,369
その他	175,578	177,560
固定負債合計	469,284	467,780
負債合計	3,844,215	4,554,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,320,858	7,323,460
利益剰余金	4,672,896	4,912,566
自己株式	△283,010	△258,521
株主資本合計	22,227,903	22,494,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,372	109,800
繰延ヘッジ損益	△5,497	△32,618
為替換算調整勘定	12,947	△31,703
その他の包括利益累計額合計	60,822	45,478
新株予約権	183,089	194,815
少数株主持分	211,373	215,365
純資産合計	22,683,189	22,950,324
負債純資産合計	26,527,404	27,504,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	15,140,328	17,254,696
売上原価	11,003,865	12,616,034
売上総利益	4,136,463	4,638,661
販売費及び一般管理費	3,487,653	3,679,187
営業利益	648,810	959,473
営業外収益		
不動産賃貸料	321,631	333,729
その他	65,561	83,352
営業外収益合計	387,192	417,082
営業外費用		
不動産賃貸費用	244,579	247,872
その他	20,340	25,141
営業外費用合計	264,919	273,014
経常利益	771,083	1,103,542
特別利益		
投資有価証券売却益	23,372	83,580
その他	—	1,470
特別利益合計	23,372	85,050
特別損失		
投資有価証券評価損	—	216,264
関係会社整理損	—	77,746
その他	—	2
特別損失合計	—	294,012
税金等調整前四半期純利益	794,455	894,580
法人税等	345,624	384,828
少数株主損益調整前四半期純利益	448,830	509,751
少数株主利益	7,652	3,992
四半期純利益	441,178	505,759

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	448,830	509,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,514	56,427
繰延ヘッジ損益	△16,991	△27,121
為替換算調整勘定	△22,143	△44,650
その他の包括利益合計	△78,649	△15,344
四半期包括利益	370,180	494,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362,528	490,415
少数株主に係る四半期包括利益	7,652	3,992

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,956,824	7,183,504	15,140,328	—	15,140,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,956,824	7,183,504	15,140,328	—	15,140,328
セグメント利益	933,041	86,457	1,019,498	△370,688	648,810

(注) 1. セグメント利益の調整額△370,688千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△370,870千円及び棚卸資産の調整額182千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,622,177	6,632,518	17,254,696	—	17,254,696
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,622,177	6,632,518	17,254,696	—	17,254,696
セグメント利益又は損 失(△)	1,727,285	△317,531	1,409,754	△450,280	959,473

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△450,280千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△449,992千円及び棚卸資産の調整額△287千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントの業況をより適切に把握するため、販売費及び一般管理費の配賦方法の見直しを行い、従来、各報告セグメントに配賦していた管理費用の一部を各報告セグメントに配賦せず調整額に含めることとしております。

なお、前第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、変更後の算定方法に基づき作成したものを開示しております。